

【議題2】

流山版千葉県地域生活連携シート活用に関する アンケート結果報告

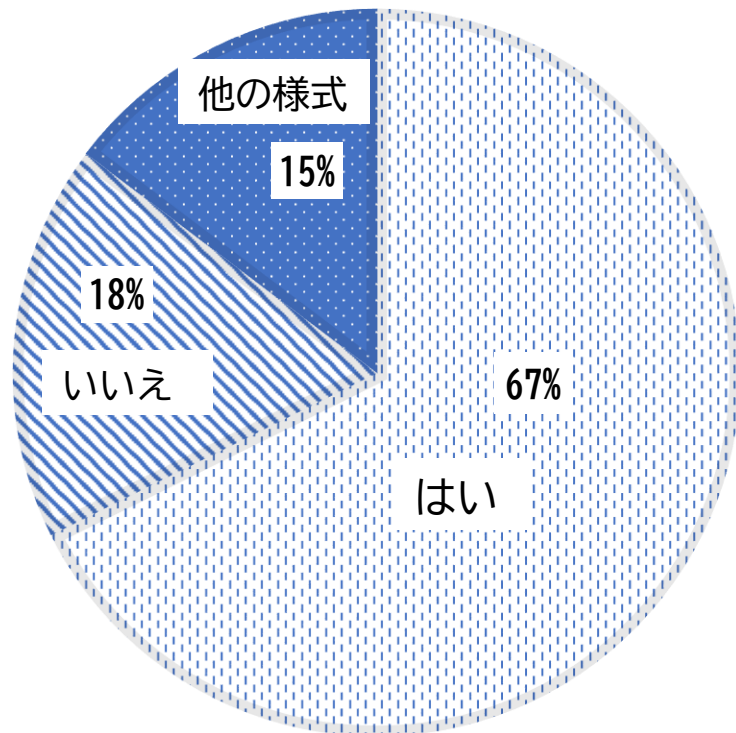
流山版千葉県地域生活連携シート活用に関するアンケート

アンケート送付先	市内全介護事業所	医療機関
調査期間	令和6年11月21日（木）～ 令和6年12月20日（金）	同左
アンケート送付数	283事業所	106医療機関
アンケート回収数	33事業所	31医療機関
アンケート回収率	11.7%	29.2%

連携シート A表について 【介護サービス事業所】

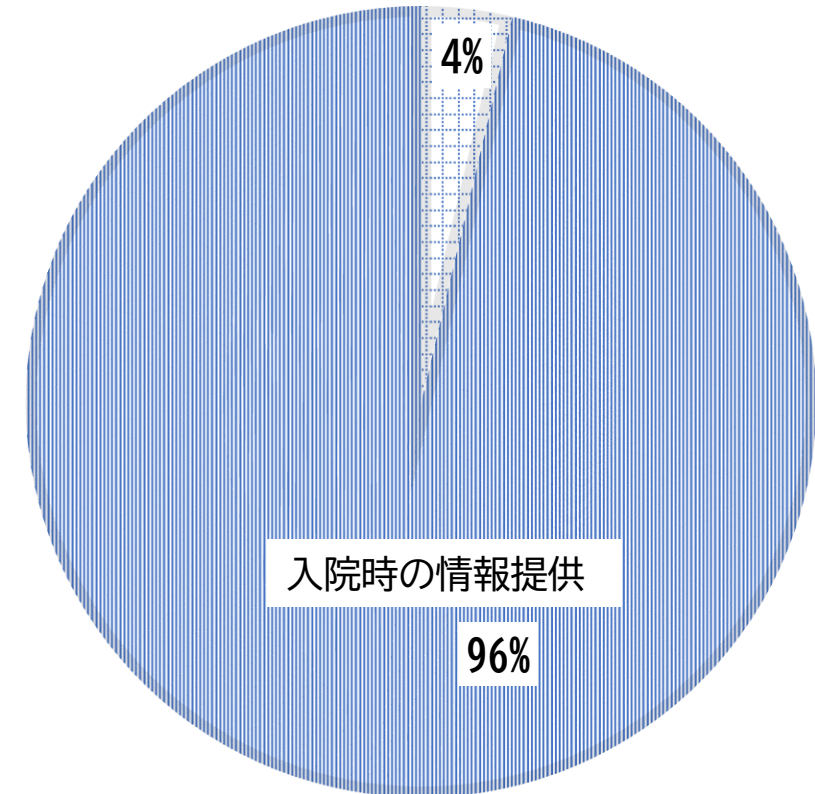
1-1 連携シート A表を使用していますか

(複数回答あり)



- 活用している (23人)
- 活用していない (7人)
- 他の様式を活用 (5人)

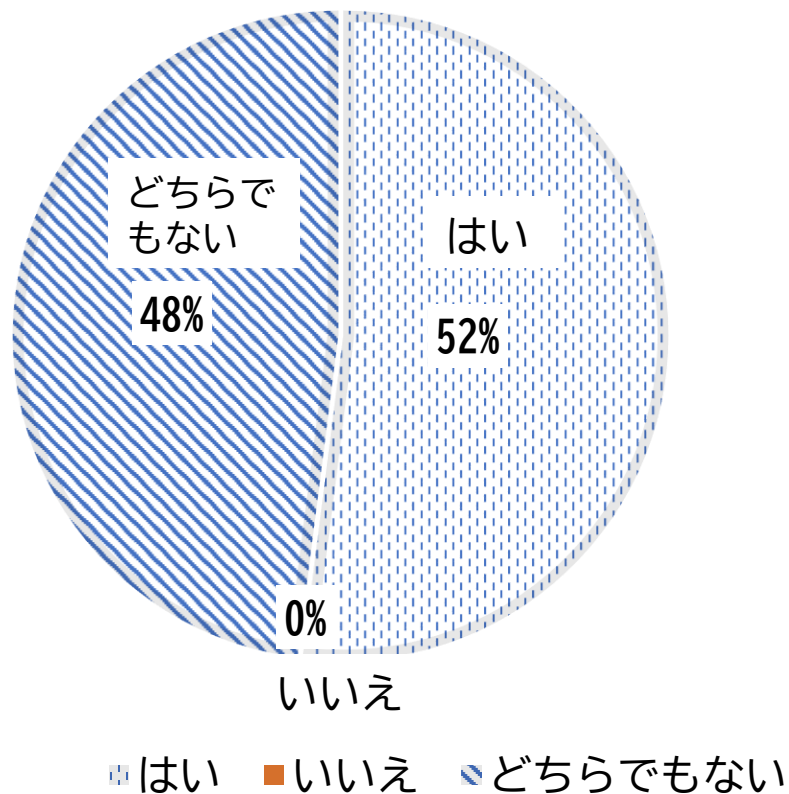
1-2 活用場面を教えてください



- 日常の状況把握のため (1人)
- 入院時の情報提供 (26人)

連携シート A 表について 【介護サービス事業所】

1-3 千葉県地域生活連携シートと比較し、使いやすくなりましたか



□ はい（13人）

- ・病院側に伝えておきたい内容を記入しやすく、既知の内容を省略できるなど、効率よく作成しやすくなった
- ・記入項目が整理され、記入しやすい（4）
- ・記入項目が減り、使いやすく書きやすくなった、優先項目が太字で見やすい
- ・シンプルになった印象がある
- ・簡略化されている

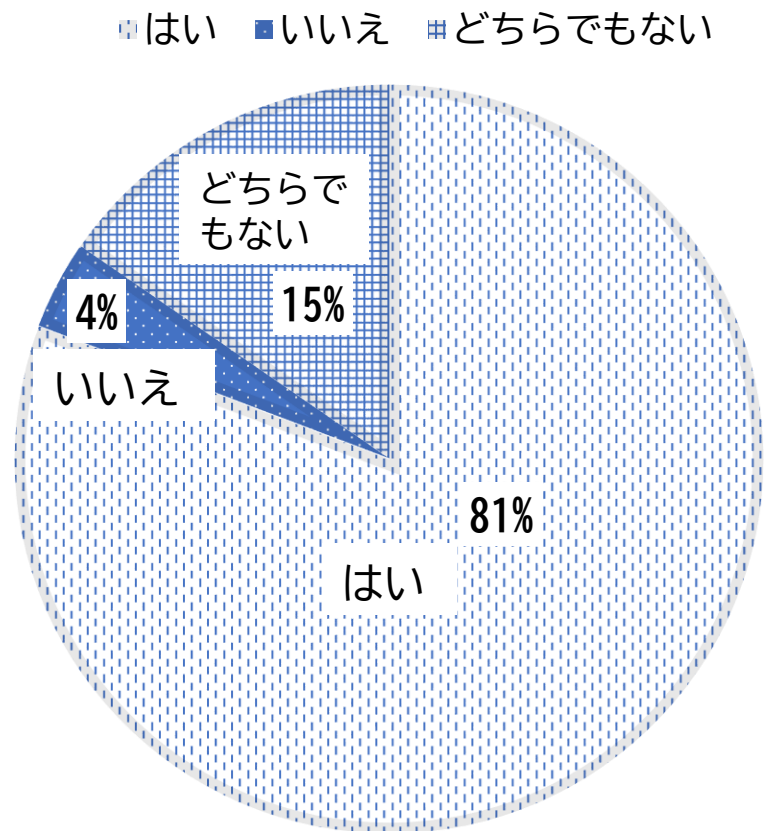
□ いいえ（0人）

□ どちらでもない（12人）

- ・特に大きな変化はない
- ・簡略化されても時間がかかる事には変わらない、薬剤情報をつけるなど他の手間は増えている
- ・千葉県地域生活連携シートとの違いが分からない
- ・項目の違いがわからない

連携シート A表について 【介護サービス事業所】

1－4 連携シートA表に記載されている内容は、連携する際の情報をして十分だと思いますか



□ はい（21人）

- ・入院前の生活状況や担当ケアマネジャーが考える不安要素などを伝えられるので十分だと思う
- ・必要な項目が含まれており、十分であると思う、薬の情報を記入するところがないが、何かあればその他に記入できるため
- ・あまり多いと記入に時間がかかるため
- ・病院側との連携項目としては十分だが、文字が小さい

□ いいえ（1人）

- ・もう少し日常生活状況を詳細にしてほしい

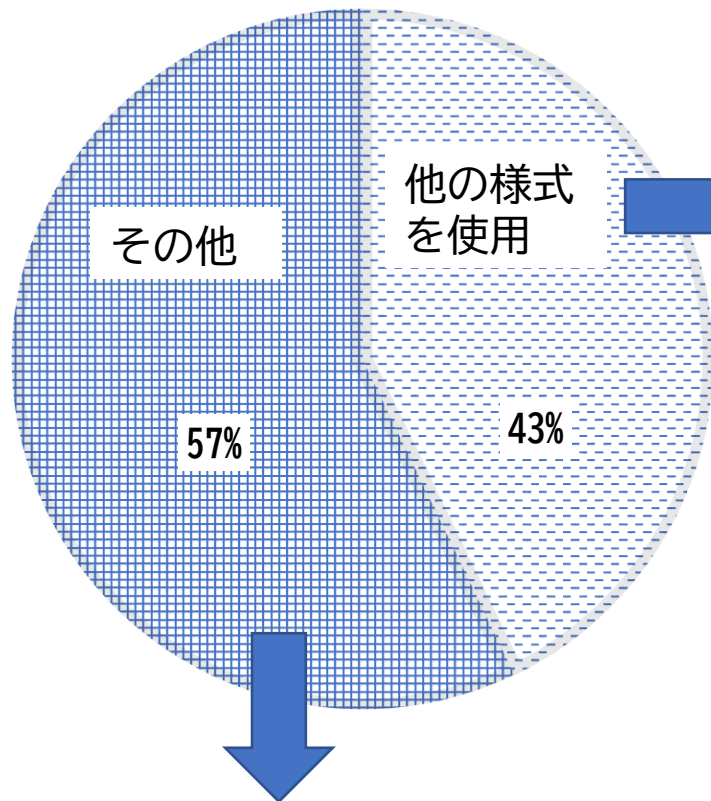
□ どちらでもない（4人）

- ・在宅から病院へ伝えたい内容は特記欄に記入できているが、伏字で送るため、電話で確認が必要なため、手間取る
- ・書面のみでは伝わらず、電話や面談が必要なこともある
- ・使用していないので分からない
- ・千葉県に比べると簡素化しているが、十分に情報提供ができているのか不安な面もある

連携シート A 表について 【介護サービス事業所】

1－5 連携シートA表が活用に至らない理由を教えてください

■ 他の様式を使用 ■ その他

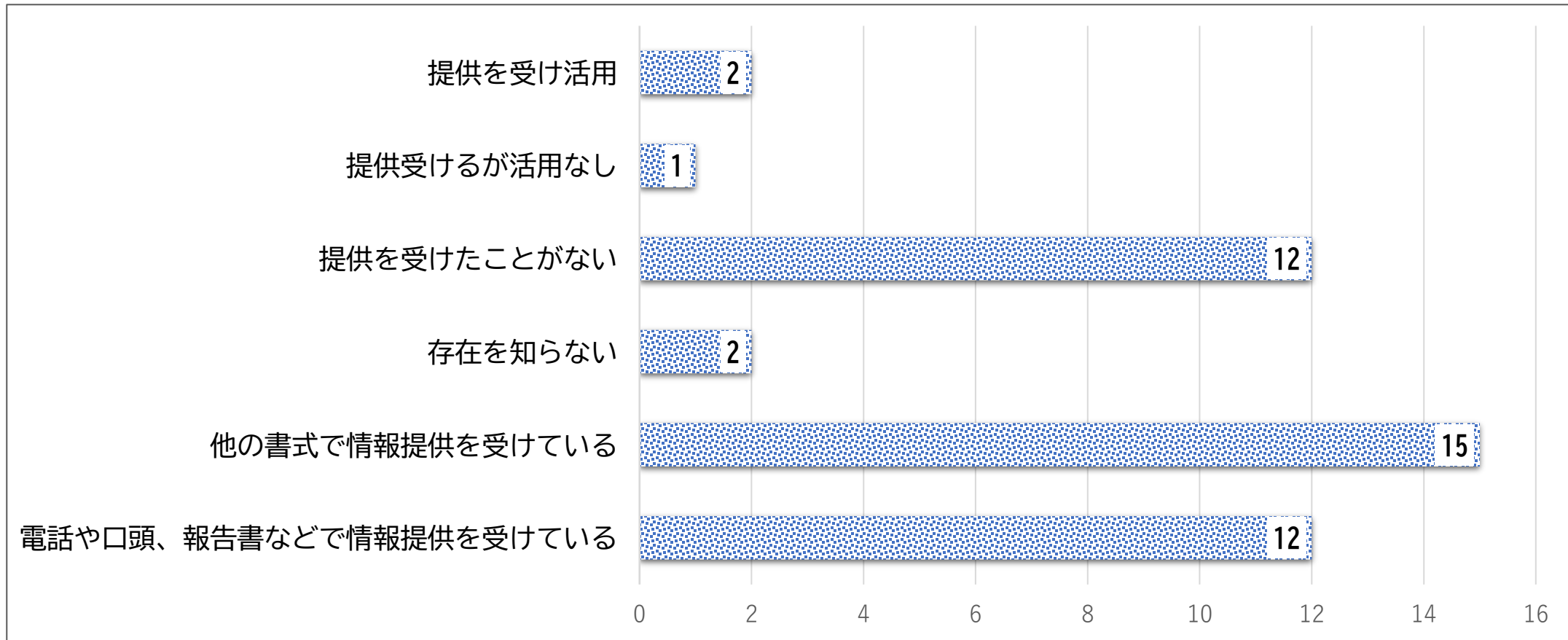


長年使用している
施設独自の様式があるなど

まだ使用したことがない、入院受け入れがないなど

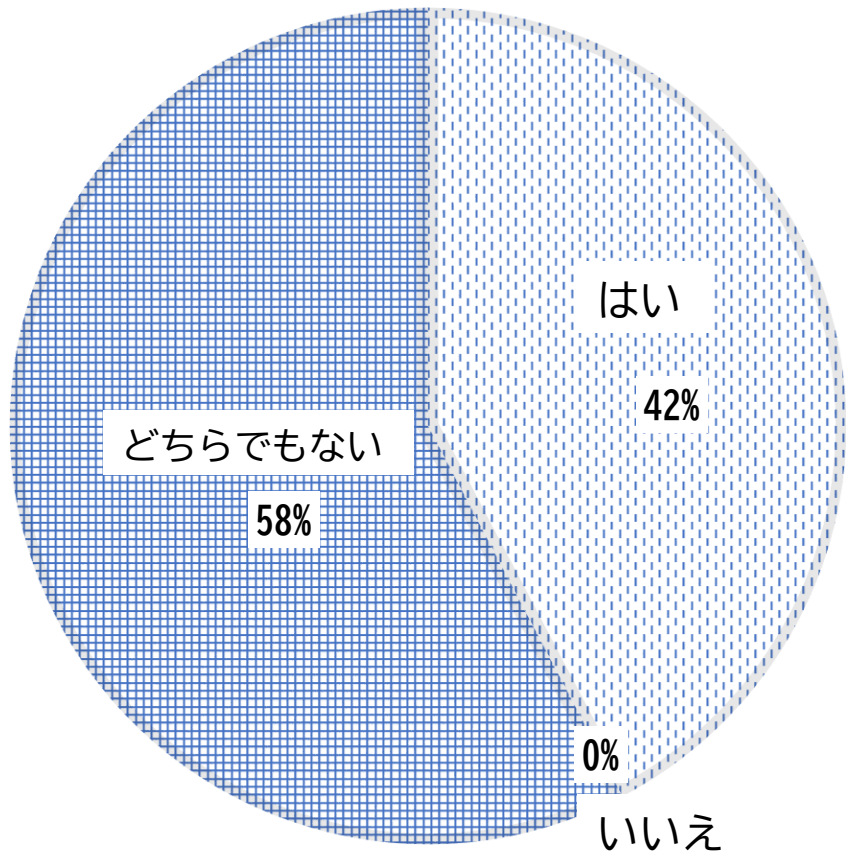
連携シート B 表について【介護サービス事業所】

2-1 連携シート B 表を活用していますか



連携シート B 表について 【介護サービス事業所】

2－2 連携シート B 表に記載されている項目は、連携する際の情報として十分だと思いますか



□ はい（11人）

- ・一通りの内容はそろっているように思う
- ・その他必要な内容は口頭やカンファレンスで聞き取っている
- ・あった方が良くと思う
- ・詳細に分類されており、分かりやすい

□ いいえ（0人）

□ どちらでもない（15人）

- ・自宅、新たな場所に退院の場合は有効、元々入所していた施設などに戻る場合は不要な項目が多い
- ・退去時は必要だが、指定の書式があるため
- ・使用したことがない
- ・書面だけでは伝わらず、電話や面談が必要な場合もある
- ・看護サマリーや診療情報提供書の内容で十分
- ・居宅と施設の介護支援専門員で共有したい内容が異なるときがある

連携シートB表について 【介護サービス事業所】

3 連携シートに追加してほしい項目、書式等に関するご意見を教えてください

欲しい情報

- 日常生活動作
- 家族のこと・・・連絡がつきやすい時間や就労の有無など
- 生活歴や現在の生活などの情報は、流山版千葉県地域生活連携シートを活用している

いらない情報

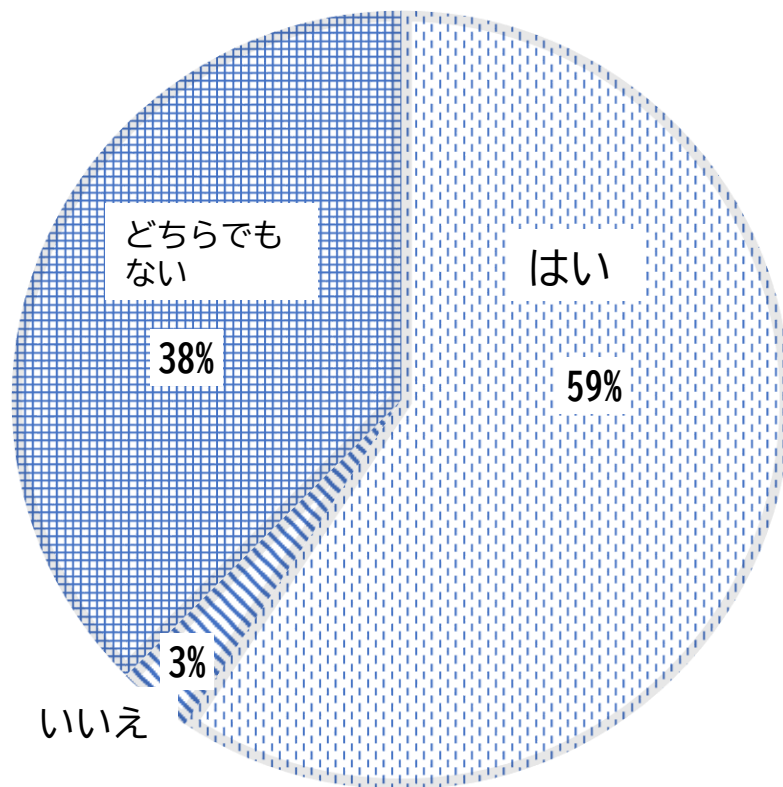
- 日常生活自立度・リビングウイル⇒病院が確認すると思うため

要望

- 必要な情報は別紙を添付（薬剤情報など）しているため、特になし
- 介護支援専門員だけが入力する内容の様式があれば記入しやすくなる
- 主病名欄が3つだと足りない場合もある

連携シート B 表について 【介護サービス事業所】

4 連携シートやその他の様式などを使って、入退院時の情報連携がスムーズに実施できていると感じますか



□ はい（19人）

- ・病院側からの要望があり、情報連携につながっている
- ・連絡のやり取りがしやすく、情報共有のスピードが速くなり、スムーズな連携につながった
- ・お互いに情報を共有していた方が話が進みやすい
- ・入退院時だけでなく、医療につながるための情報共有に使用することもある
- ・このシートを見れば、一通りのことは分かるので良い

□ いいえ（1人）

- ・救急搬送時に感染症に関する質問が多くあるので、項目追加を検討してはどうか

□ どちらでもない（12人）

- ・病棟で連携シートの内容を把握していないこともある
- ・退院前カンファレンスを希望しても突然退院となり支援に難航することがある。特に困難事例で情報提供している患者には退院調整の連絡が欲しい
- ・必要な情報は口頭であったり、家族からの情報で済んでいる
- ・情報提供しても、担当の方が見ておらず情報が途切れ、スムーズとは言えない
- ・入院時の情報提供はA表、退院時は看護サマリーで受け、情報が足りない時などは電話で確認している
- ・結局電話でやりとりをしている、口頭の方が細かいニュアンスが伝わるため
- ・病院や利用者の状況によって変化するため
- ・入退院時の情報共有は、シートの有無にかかわらず、現状のやり方で問題ない

連携シート B 表について 【介護サービス事業所】

5 入退院時の情報連携についてご意見、困っていること、課題などを教えてください

□ 流山版地域生活連携シートについて

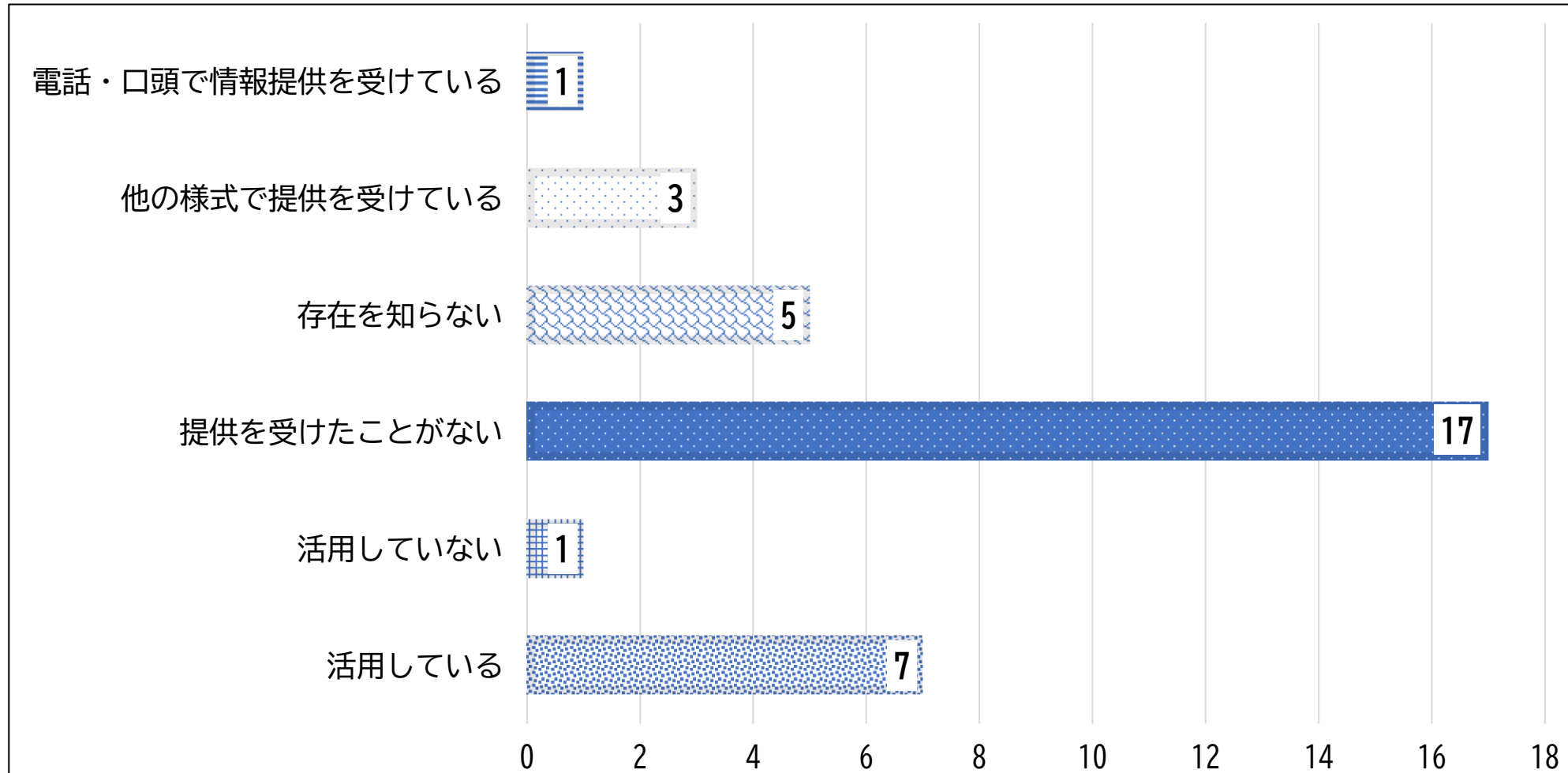
- ・医療機関（看護師やリハビリ職など）の流山版地域生活連携シートの活用について周知が必要
- ・書面での連携には特になし
- ・項目が多く、字が小さいことや文字数が多いため、見づらい印象がある
- ・各々の事業所で使用しているシステムが異なるため、項目を紐づけるなど作業量が多くなることもある

□ 情報連携について

- ・看護サマリーやリハビリサマリー、病院サマリーが抜けやすいので連携シートと同様の扱いにしてほしい
- ・電話は基本的につながりにくく、タイミングが合わない
- ・休日や夜間の入院の場合、情報提供に遅れが出てしまう
- ・病院によっては、状態悪化し在宅移行が困難と考えられる方であっても、キーパーソンである家族と連絡するよう促され、情報提供を断られたケースもある
- ・病院により、退院することの情報提供がないこともある
- ・退院時に何の調整もなく自宅に帰り、困って連絡が入ることが多い。退院前に状況を把握し、サービス調整や相談を本人・家族としっかり行って在宅移行につなげたい
- ・連携シートを送っても情報が途切れたり、退院前カンファレンスを希望しても、突然の退院となり、サービス調整や在宅での立て直しができず、支援が難航することがある
- ・事前に困難事例として情報提供している患者については、在宅移行のため退院調整の連絡が欲しい

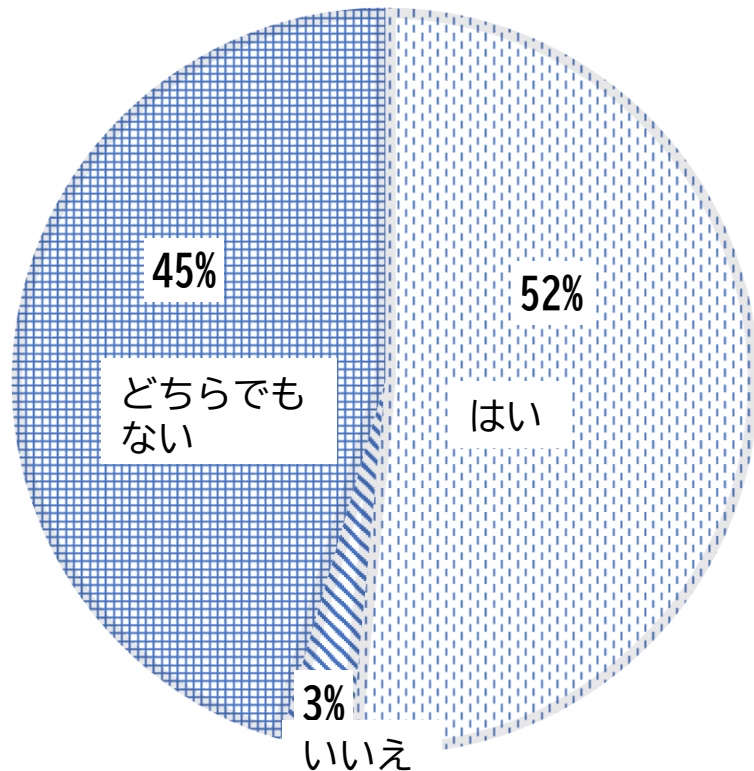
連携シート A 表について 【医療機関】

1-1 連携シート A 表を活用していますか



連携シートA表について 【医療機関】

1-2 連携シートA表に記載されている項目は、連携する際の情報として十分だと思いますか



□ はい（17人）

- ・サービスの利用状況や生活歴、意向などが知りたい内容が詳細に記載してあることが多いため

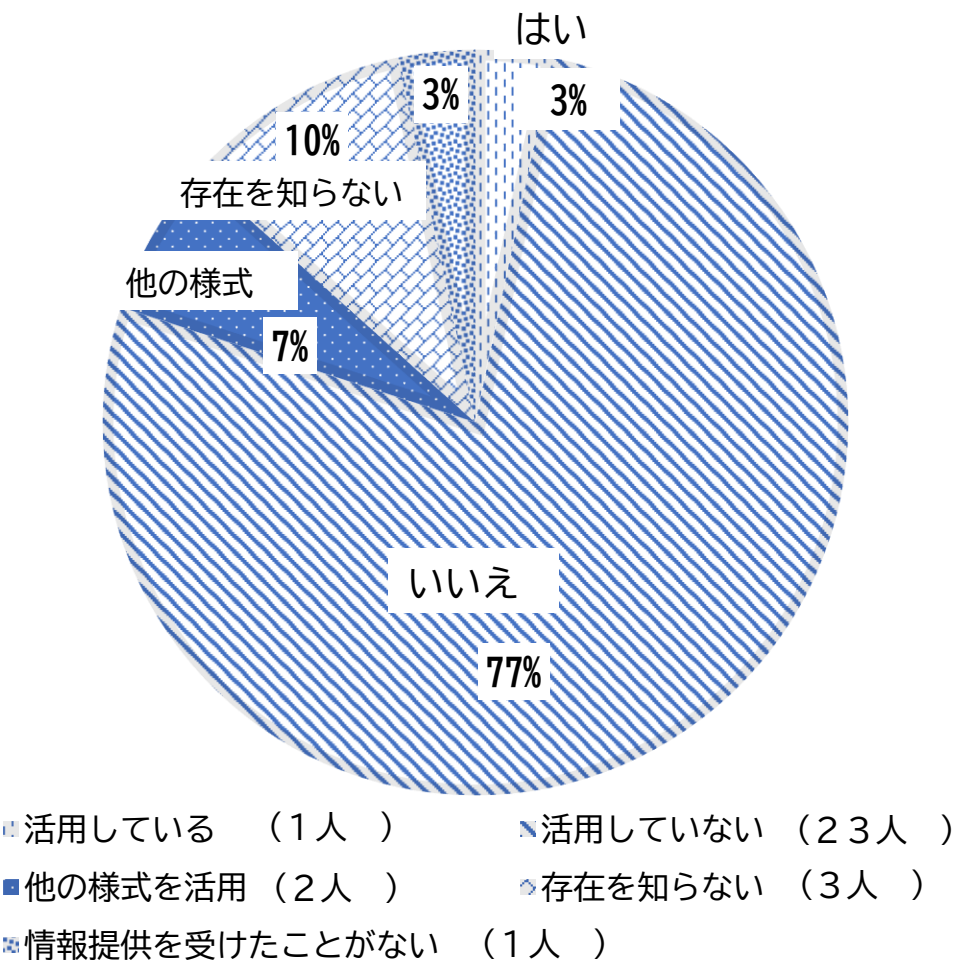
□ いいえ（1人）

□ どちらでもない（15人）

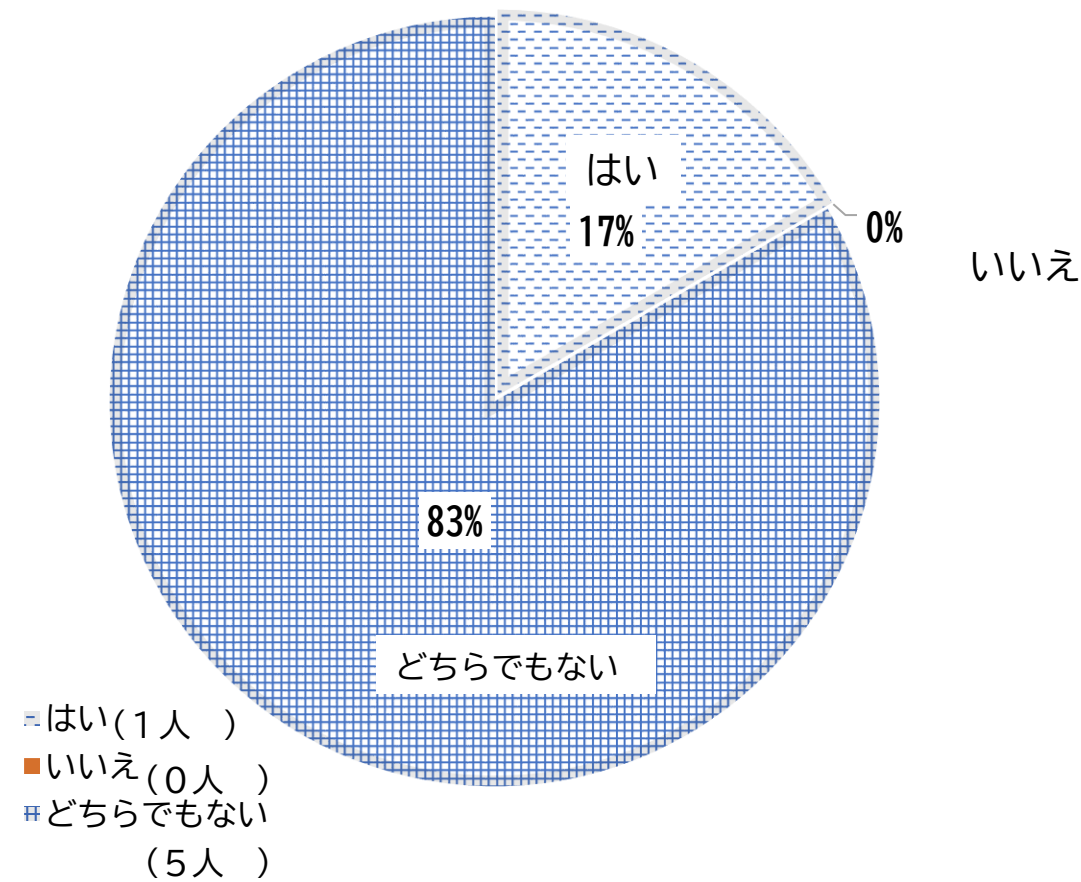
- ・提供を受けたり、使用したことがない
- ・介護サービス利用状況の欄で、訪問看護の事業所名、訪問介護の利用目的などを記載していただくとより有効活用できると思う

連携シート B表について【医療機関】

2-1 連携シート B表を活用していますか

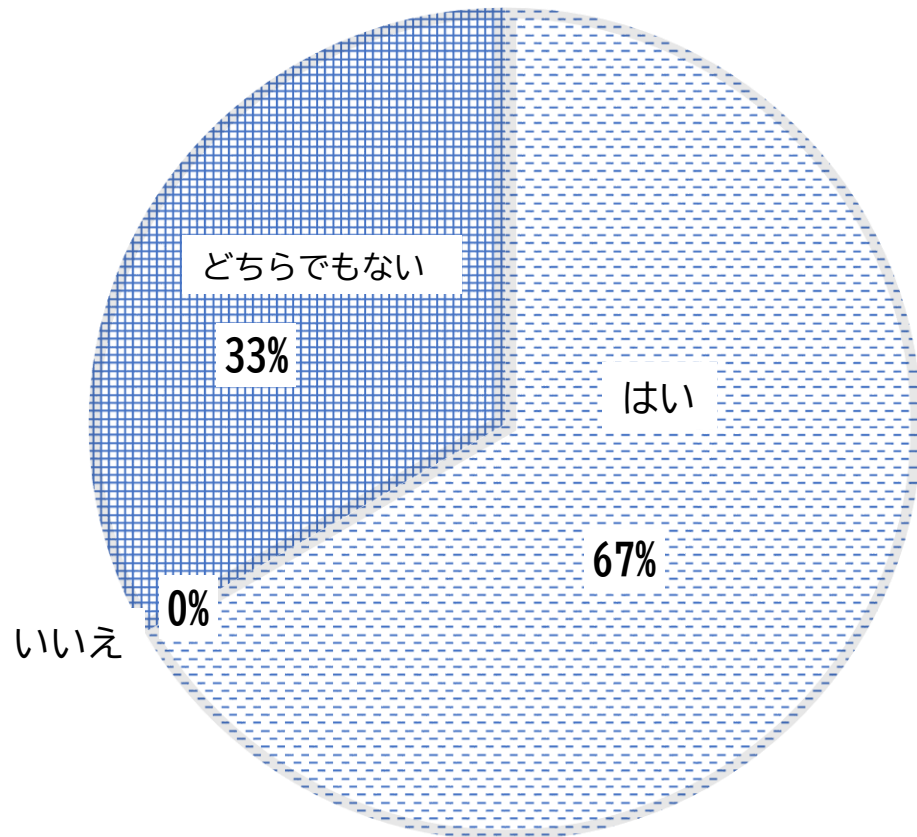


2-2 千葉県地域生活連携シートと比較して使いやすくなりましたか（業務の効率化など）



連携シート B 表について 【医療機関】

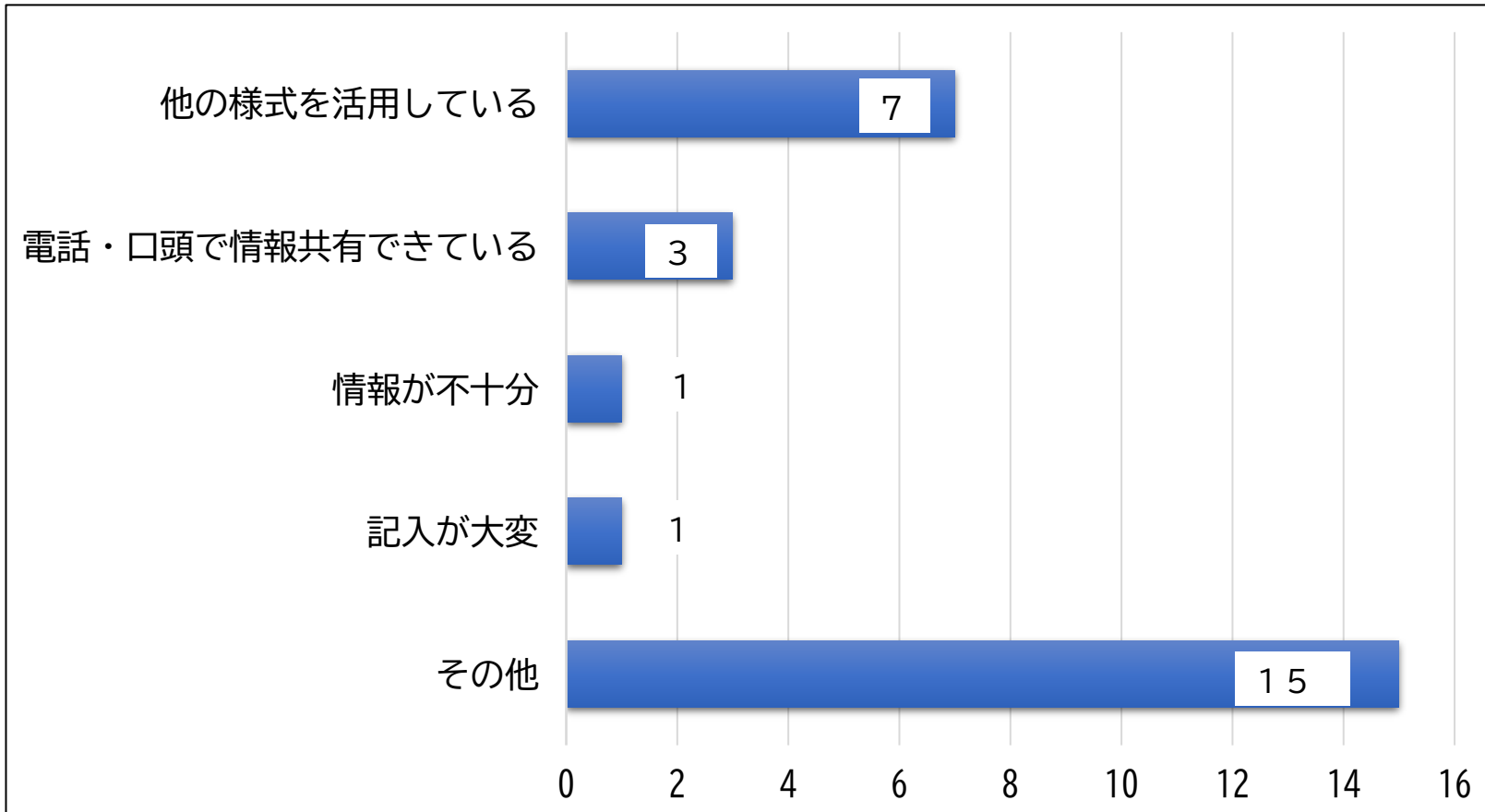
2-3 連携シート B 表に記載されている項目は、連携する際の情報として十分だと思いますか



- はい（4人）
 - ・入院前のADLなどは詳細な項目があり分かりやすい
- いいえ（0人）
- どちらでもない（2人）
 - ・連携シートを使用したことがないため

連携シート B 表について 【医療機関】

2-4 連携シート B 表を活用されていない理由を教えてください



その他

- 活用したことがない
- 知らない
- 提供を受けたことがない
- 記入の要請がなく、主体的に使用することがない
- 看護サマリーや情報提供書を活用している
- 病棟看護師が内容を確認後、医療ソーシャルワーカーとの情報共有を行っている

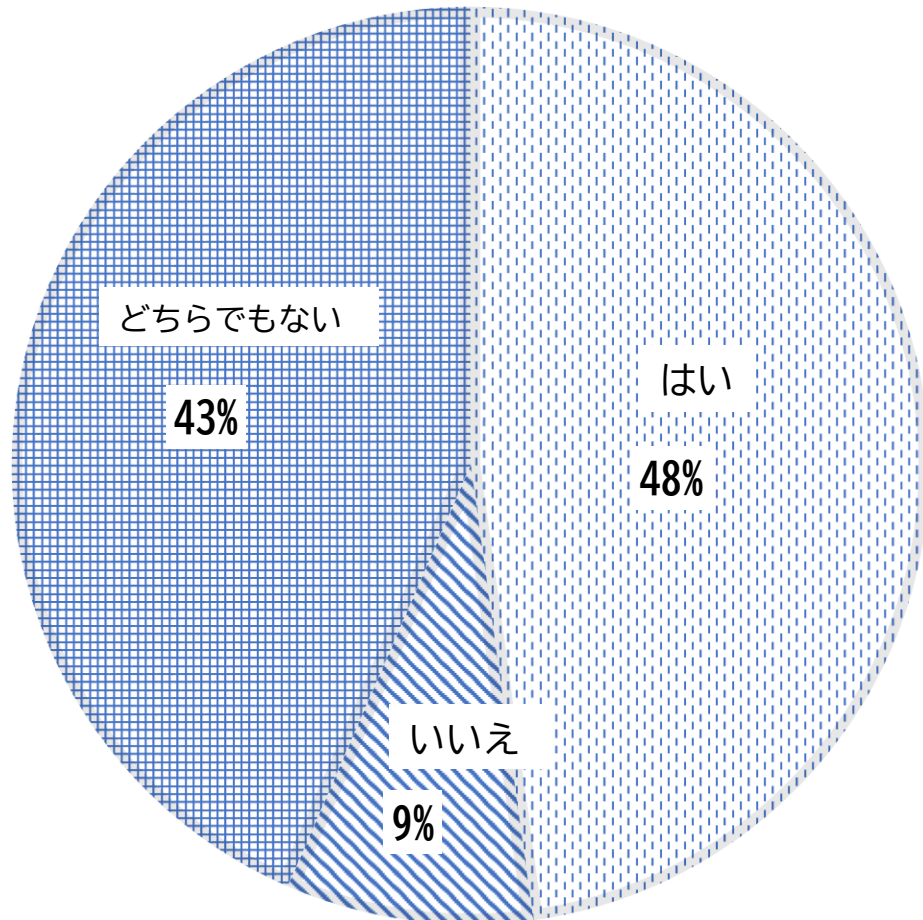
連携シート B 表について 【医療機関】

3 連携シートに追加してほしい項目、書式等に関するご意見を教えてください

- 特になし

連携シート B 表について 【医療機関】

4 連携シートやその他の様式等を使って、入退院時の情報連携がスムーズに実施できていると感じますか



□ はい（11人）

- ・ 取り急ぎ、入院時に必要な情報は手に入るのを助かっている
- ・ 病院からの情報提供書やサマリーで共有できている
- ・ 看護サマリーなどで情報を送ることができる
- ・ 社会資源を把握することで他職種連携が図れるため

□ いいえ（2人）

- ・ 現在、連携シートを活用しておらず、情報連携がスムーズではない現状があります。今後、使用すれば改善する可能性があると思います

□ どちらでもない（10人）

- ・ 提供を受けたり、使用したことがない
- ・ 居宅介護支援事業所から届いていない、病院側から退院時提供できないこともあり、漏れのないよう意識していきたい
- ・ 病院から入所相談・情報提供の際に入院前の状況をアセスメントするために連携シート送付を依頼することがある
- ・ 病院と居宅間で連携シートによる情報連携がなされないこともある（どのような手段で情報連携しているかの記載なし）

連携シート B 表について 【医療機関】

5 入退院時の情報連携について、ご意見、困っていること、課題があれば教えてください

- 病状の説明は基本的に医師の役割であり、医療相談員から居宅介護支援専門員や施設に病状を伝えることはありません（個人情報や専門でないなど）そのため、在宅移行の準備や、家族の認知能力に支障がある、家族が協力的でない場合など、情報共有が難しい場合もある
- 入院先の情報十分
- 他の病院に入院後にリハビリに通所を開始する際に情報不足を感じるため、連携シートを送ってもらえると嬉しい（リハビリ職）
- 介護支援専門員や在宅関係者が入院したことを知らないこともあるため、患者ごとの情報共有や入院したらすぐに連携シートを送ってほしい